

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 9月 10日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都台東区台東1-2-16

氏名 株式会社ライフコーポレーション
代表取締役社長 岩崎 高治

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ライフコーポレーション 代表取締役社長 岩崎 高治				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都台東区台東1-2-16				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	58 飲食料品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,925	kl	自動車の台数	台

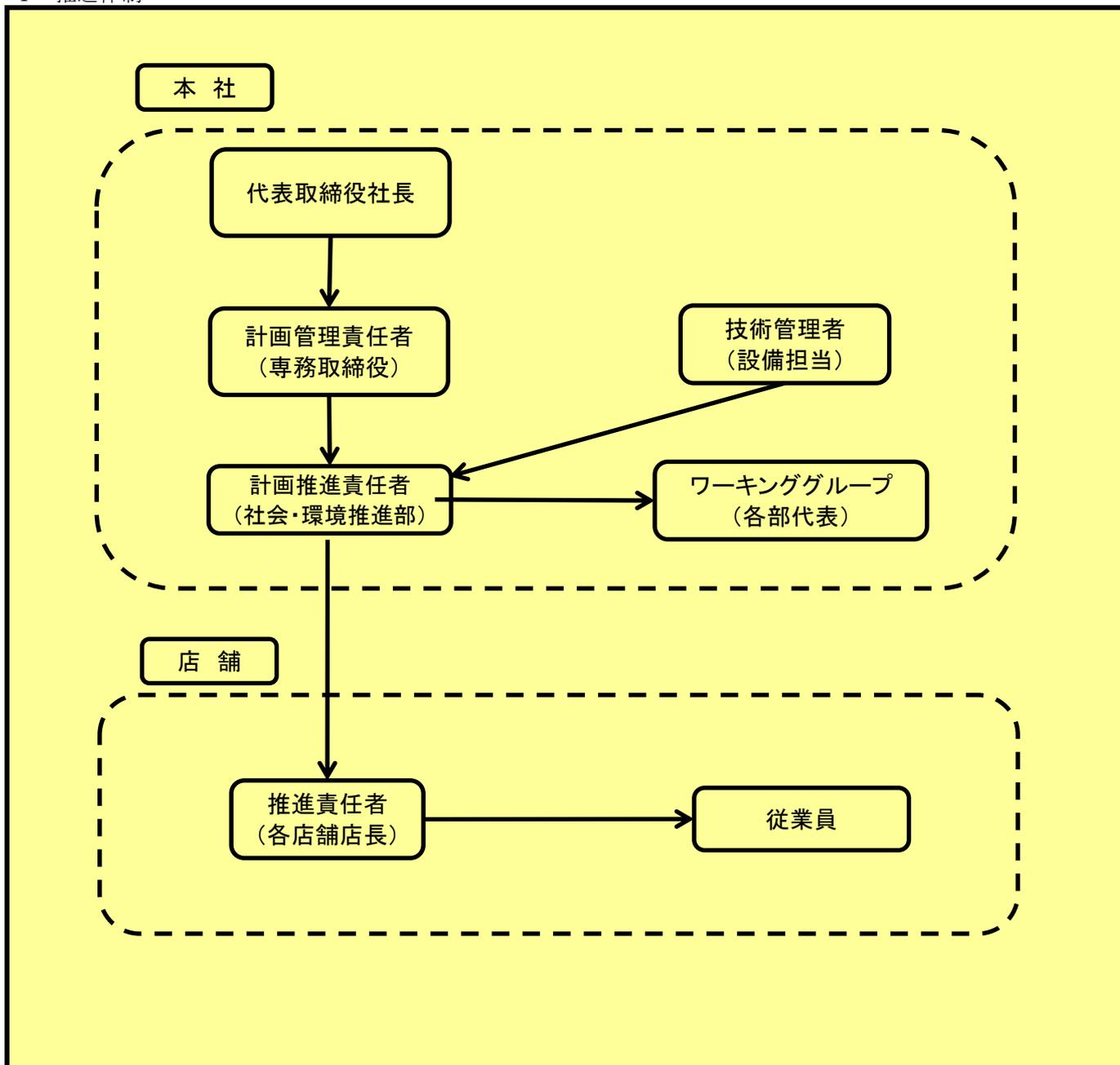
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】</p> <p>1、事業者全体基本方針</p> <p>次の方針より、積極的な地球温暖化対策を進めていく。</p> <p>(1) 社内「環境憲章」に則り、取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。</p> <p>(2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。</p> <p>(3) 温室効果ガス排出量の削減に寄与する機器を今後の店舗開発の際に検討する。</p> <p>(4) 各営業所の特性を考慮しながら無駄なエネルギーを削減する。</p> <p>(5) 地域社会に貢献し、サービスレベルを維持しながらエネルギーの合理化を達成する。</p> <p>(6) 設備の更新はエネルギー使用量の多い空調及び冷蔵・冷凍ケースとし、老朽化に伴い更新を検討する。</p> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 鶴見店、大口店、希望が丘店の空調設備の更新。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 基本照明はLED化済みで、空調は10年以上使用しているため。</p> <p>③設備更新スケジュール 大口店、鶴見店の2店舗は平成30年に実施予定。希望が丘店は平成31年以降となる予定。</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	ライフコーポレーション東京本社
	所在地	東京都台東区台東1-2-16
	閲覧可能時間	9:30~17:00 (土・日・祝日除く) 要事前電話連絡
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	5,356	t-CO ₂			基準原単位	50.06	t-CO ₂ /	千㎡・千h
	調整後	5,263	t-CO ₂			目標原単位	48.55	t-CO ₂ /	千㎡・千h
目標年度 (2018年度)	目標排出量	5,195	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %		
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	無駄な電気の消灯、こまめなエアコン設定など従業員への啓発を実施するとともに、店舗老朽化等による改装の実施の際は積極的な設備等の入替を検討し、年1.0%の排出抑制を目指す。								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	5,234	t-CO ₂	削減率	2.3 %	排出原単位	47.58	t-CO ₂ /	千㎡・千h
	調整後	5,092	t-CO ₂	削減率	3.2 %		削減率	5.0 %	
目標等の達成状況 及び説明	無駄な電気の消灯、こまめなエアコン設定など従業員への啓発などの実施及び鶴見店、大倉山店におけるLED導入効果。								
第二年度 (2017年度)	排出量	5,087	t-CO ₂	削減率	5.0 %	排出原単位	47.40	t-CO ₂ /	千㎡・千h
	調整後	4,801	t-CO ₂	削減率	8.8 %		削減率	5.3 %	
目標等の達成状況 及び説明	省エネ・節電意識を従業員に啓発し、無駄な電気の消灯、エアコンの適正温度設定の徹底により削減目標を達成した。また、新たに開設した店舗には最新の冷ケースや照明・空調設備等を導入したことで電力使用量の削減に結び付き、温室効果ガスの排出量が抑制された。								
第三年度 (2018年度)	排出量	5,690	t-CO ₂	削減率	▲ 6.2 %	排出原単位	50.66	t-CO ₂ /	千㎡×千h
	調整後	5,255	t-CO ₂	削減率	0.2 %		削減率	▲ 1.2 %	
目標等の達成状況 及び説明	新規事業所の開設にともない、排出量は増加する結果となった。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	店舗の開設・改装により排出量は増加となった。無駄な電気の消灯や空調温度の適正化、冷ケースの入替え等、様々な取り組みを推進してきたものの原単位において目標達成とはならなかった。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 未満	6	5,356	6	5,234	8	5,087	7	5,690
合計	6	5,356	6	5,234	8	5,087	7	5,690

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	8/8	—	年度			実施済	7/7	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/6	—	2018年度		2018年2月に1店舗の一部空調更新 10年未満が2店舗あり	実施中	1/8	—	2019年度		2018年2月に鶴見店で空調更新 18年11月に大口店で空調機更新予定	実施中	2/7	—	2024年度		18年11月に大口店改装に伴い空調機を更新
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	5/6	—	2018年度		フロン台帳作成済み	実施済	8/8	—	年度		実施完了	実施済	7/7	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	8/8	—	年度			実施済	7/7	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所ではないため
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	5/6	—	2018年度		大船店以外の5店舗で実施済み	実施中	0/8	—	2019年度		判断基準を満たすように対策の実施を検討。	実施済	7/7	—	年度		対象店舗にて実施済
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度		大口店にて実施済み	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	8/8	—	年度			実施済	7/7	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	8/8	—	年度			実施済	7/7	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		5.41 %		5,690		1,818.1		1,510.4		308					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	LEDの導入	大倉山店	2016	蛍光灯ランプ 121本	昼間買電	1,706	千kWh	873.5	LEDユニット 121本	昼間買電	1,592	千kWh	815.1	58.4	7,948 千円
2	LEDの導入	鶴見店	2016	蛍光灯ランプ 112本	昼間買電	1,845	千kWh	944.6	LEDユニット 112本	昼間買電	1,358	千kWh	695.3	249.3	6,544 千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	435	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策⇒環境活動報告書 ・その他レジ袋の削減⇒環境活動報告書
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の更なる排出削減
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見店のオーナー様と周辺の他社店舗様と合同での緑地保全・緑化活動 ・地域における環境教育（食育）活動の実施
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見店のオーナー様と周辺の他社店舗様と合同での緑地保全・緑化活動 ・地域における環境教育（食育）活動の実施 ・マイバック推進による廃棄物の排出抑制
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見店のオーナー様と周辺の他社店舗様と合同での緑地保全・緑化活動 ・地域における環境教育（食育）活動の実施 ・マイバック推進による廃棄物の排出抑制

14 実施状況等に対する自己評価

<p>事業の特性上、常に冷蔵冷凍ケース等を稼働させる必要があるもののナイトカーテンなどで省電力に努めているほか、最新設備への入替えも実施している。また、全従業員が無駄な電気の消灯・こまめなエアコンの設定など、高い意識を持って無駄なエネルギー使用の削減に取り組み、排出量削減に努めてきた。</p>
